

令和7（2025）年1月7日発行

令和7（2025）年度

日本言語技術教育学会事務局通信第52号

謹啓 初春の候、会員各位に於かれましてはますます御清栄の段、何よりの慶事と心からお喜び申し上げます。昨年も大変お世話になりました。今年も本学会発展に際し、御支援・御協力賜りますようお願い申し上げます。

さて、第33回研究大会は令和6年6月29日（土）に群馬県育英短期大学において97名の参加者を得て開催することができました。実行委員長を務めてくださった今井東副会長を始め、学生役を務めてくださった学生の皆様、理事の皆様、御参加の皆様のお蔭です。

深く感謝申し上げます。

午前には「子ども学芸員になろう～対話による絵画の鑑賞を通して～」、「ミニ芥川賞作家になろう～テキスト生成AI（ChatGPT）の選択を通して～」、「固有種が教えてくれること」、「野口流小出し方式による詩の授業」という4本の提案授業、午後はパネル・ディスカッション形式による提案授業の検討を行い、学習者に身に付けさせるべき言語技術を学び合いました。提案授業とその検討を同日に行い、研究者と実践者が学び合う稀有な研究大会として今年度も多くの成果を上げることができました。また、昨年度と同様、今年度もICTの利活用により、紙をできるだけ少なくする開催を実現することができました。

来年度は実行委員長を務めてくださる京野真樹理事の御尽力により、第34回研究大会を令和7年7月26日（土）に秋田大学教育文化学部附属小学校で開催いたします。是非、多くの皆様に御参加いただきますようお願い申し上げます。

今年度も本学会の目的である「言語技術教育の創造を期し、我が国の国語科教育の改革および発展に貢献すること」の実現に向けて精進してまいります。

皆様の御健康・御多幸をお祈り申し上げます。引き続き、御指導・御鞭撻をお願い申し上げます。

頓首

日本言語技術教育学会事務局長 渥美清孝拝

I 会長挨拶 柳谷直明

第33回群馬大会も盛会裏に終えた。言語技術解明に向けて、各領域での言語技術を検討した。詳細は現在編集中の『言語技術教育34』で事務局長が報告する。

第34回秋田大会に向けて準備を進めている。全会員で議論し、研究の質を高めたい。既にこくち一
ずで申し込みを始めている。12月31日現在13名の申し込みである。kokc.jp/e/070726/

今年も真剣に議論して、論文の質を高めたい。以下、第33回群馬大会での会長挨拶の概要である。

会場提供など御準備いただいた今井東実行委員長、理事・参加者各位により、本研究大会を開催できます。深く感謝申し上げます。

本学会研究大会は模擬授業を通して、言語技術を報告し、検討し合うという研究方法を用いています。研究者と実践者が平等に学び合う、稀有な研究会です。

「話すこと・聞くこと」領域では、「対話による絵画の鑑賞」に有効な言語技術を報告します。「書くこと」領域では、テキスト生成AI (ChatGPT) を活用した作文指導に有効な言語技術を報告します。

「読むこと」領域説明文では、どう情報を理解させるか、どう情報を操作・活用させるかなど、説明文の読解指導に有効な言語技術を報告します。「読むこと」領域文学では、詩歌での必然的で、スムーズな指導による読解・鑑賞に有効な言語技術を報告します。

午後は報告された言語技術の有効性を議論し、検討し合います。詳細は『言語技術教育33』の巻頭において本研究大会の成果と課題の想定を述べましたので御覧ください。

本日一日、参加者全員が平等に議論し、研究を深めましょう。質問は1分、回答は2分という時間を守って発言するのも言語技術の成果の一つです。本日得た学びを各学校における課題解決に役立ててください。

それでは、言語技術の解明を目指し第33回大会を開催します。学びを楽しみましょう。

II 日本言語技術教育学会第33回大会(群馬大会)報告

1 大会テーマなど

【大会テーマ】言語技術が見える授業づくり

【期日】令和6(2024)年6月29日(土)

【後援】文部科学省、群馬県教育委員会

【会場】育英短期大学(〒370-0011 群馬県高崎市京目町1656-1) 125大会議室

【参加費】 事前入金(6月14日締切) 非会員4,500円 会員4,000円 学生2,500円

当日入金 非会員5,000円 会員4,500円 学生3,000円(資料他込み)

2 日程

09:30 受付開始

09:45 開場・諸連絡 富樫忠浩(理事)

実行委員長挨拶 今井 東(副会長)

09:50 開会挨拶 柳谷直明(会長)

第一部 提案授業

- 10：00～10：25 模擬授業1 話すこと・聞くこと「子ども学芸員になろう～対話による絵画の鑑賞を通して～」(小4, 自作教材)
授業者 京野真樹(秋田大学教育文化学部附属小学校)
- 10：30～10：55 模擬授業2 書くこと「ミニ芥川賞作家になろう～テキスト生成AI(Chat GPT)の選択を通して～」(小6, 自作教材)
授業者 山本裕貴(木更津市立鎌足小学校)
- 11：05～11：30 模擬授業3 読むこと(説明的な文章)「固有種が教えてくれること」(小5, 光村図書出版)
授業者 瀧沢葉子(上尾市立大石北小学校)
- 11：35～12：00 模擬授業4 読むこと(文学的な文章)「野口流小出し方式による詩の授業」(小3)
授業者 岩下修(元立命館小学校)
- 12：00 諸連絡(昼食場所・総会案内等)
- 12：10 昼休み・理事会
- 13：00 学会総会(事業・会計報告, 事業・予算案等)

第二部 提案授業の検討

- 13：30～14：20 検討1 話すこと・聞くこと領域
指定討論者・司会 開田晃央(水戸教育事務所学校教育課)
提案者 京野真樹(秋田大学教育文化学部附属小学校)
指定討論者 中村麻里那(茨城大学教育学部附属中学校)
渥美清孝(弟子屈町立弟子屈小学校)
長谷川祥子(青山学院大学)
野口芳宏(植草学園大学名誉教授)
- 14：25～15：15 検討2 書くこと領域
指定討論者・司会 大内善一(茨城大学名誉教授)
提案者 山本裕貴(木更津市立鎌足小学校)
指定討論者 安 暁彦(茨城大学教育学部附属中学校)
西山明人(東京農業大学第三高等学校附属中学校)
國府田祐子(淑徳大学)
柳谷直明(北海道教育大学非常勤講師・北海道教育大学附属札幌中学校非常勤講師)
- 15：25～16：15 検討3 読むこと領域(説明的な文章)
指定討論者・司会 富樫忠浩(栗山町立栗山小学校)
提案者 瀧沢葉子(上尾市立大石北小学校)
指定討論者 高木輝夫(ひたちなか市立枝川小学校)
山中伸之(栃木市立大平中央小学校)
照井孝司(元・岩手県公立小学校)
中村孝一(常葉大学)
- 16：20～17：10 検討4 読むこと領域(文学的な文章)

指定討論者・司会 今井 東 (育英短期大学)
提案者 岩下 修 (名進研小学校国語顧問)
指定討論者 松澤正仁 (元・愛媛県公立小学校)
河内昭浩 (群馬大学)
小川智勢子 (環太平洋大学)
佐藤洋一 (岡崎女子大学)

※ 所属は第33回秋田大会時のもの。

17:15 閉会挨拶 中村孝一 (副会長)

17:20 諸連絡

3 令和7(2025)年度総会

大会開催日に総会を行った。理事会の運営、事務局通信の発行、大会紀要『言語技術教33』発刊、第33回群馬大会開催業務等、令和6年度の事業報告を行った。

本総会で承認された役員・理事 (退任2名、新任2名)、事業計画を掲載する。

(1) 令和7(2025)年度役員・理事

【会長, 代表理事】 柳谷直明

【会長代行, 副会長】 中村孝一

【会長代行, 副会長】 今井 東

【会長代行, 副会長】 渥美清孝

【常任理事】

・柳谷直明(代表理事) ・野口芳宏 ・大内善一 ・中村孝一 ・今井 東 ・渥美清孝

【理事】(五十音順)

・渥美清孝 ・井上善弘 ・今井 東 ・岩崎 淳 ・岩下 修
・大内善一 ・大貫眞弘 ・小川智勢子 ・開田晃央 ・木山麻衣子
・京野真樹 ・國府田祐子 ・小森 茂 ・佐藤洋一 ・篠原京子
・瀧沢葉子(新) ・高木輝夫 ・高橋 勲 ・田邊 泰 ・塚田直樹(新)
・照井孝司 ・富樫いずみ ・富樫忠浩 ・中村孝一 ・中村麻里那
・西山悦子 ・野口芳宏 ・長谷川祥子 ・平河 力 ・増田 泉
・松澤正仁 ・望月善次 ・安 暁彦 ・柳谷直明 ・山中伸之
・渡邊靖之 (計36人)

<退任> ・鶴田清司 ※本人の御意向により理事を退任された。

・高橋秀一 ※本人の御意向により理事を退任された。

【監事】 ・中村麻里那(茨城支部) ※理事兼任 ・渡辺真由美(神田支部)

【事務局長】 ・渥美清孝 ※副会長兼任

(2) 事業計画

・令和7(2025)年度第2回理事会(令和6年9月7日)にて令和6(2024)年度大会収支を含む令和6(2024)年度決算・監査報告、令和7(2025)年度大会収支を含む令和7(2025)年度予算案、第34回研究大会企画検討、授業者・登壇者検討、大会事務局組織を検討する。

・『言語技術教育34』は溪水社からの発行を目指す。

・令和7(2025)年度大会の準備・運営を行う。

4 『言語技術教育 33』 内容

日本言語技術教育学会第三三回研究大会・群馬大会の成果と課題の想定	柳谷直明
一 特集 私が主張する「言語技術教育論」	
◆ 言語技術教育解明試論二——宇佐美寛論文の検討を例として——	柳谷直明
◆ 〈学習の手引き〉で言語技術を可視化する——大村はまの「てびき」を手がかりに——	大内善一
◆ 言語技術教育を支える人間としての在り方	野口芳宏
◆ 言語技術教育と国語教科書	中村孝一
◆ 「学習規律」の一部は言語技術である	渥美清孝
◆ 「事実」と「考え」を区別して表現できるようにする授業の提案	今井 東
◆ 論文の形式を重視した論理的文章の読み方指導（中学校）	長谷川祥子
二 授業一「話すこと・聞くこと」領域での言語技術指導	
教材名『子供学芸員になろう～対話による絵画の鑑賞を通して～』（小四，自作教材）	
◆ 国語科学習指導案『子供学芸員になろう～対話による絵画の鑑賞を通して～』	京野真樹
◆ 対話による鑑賞の内容を即座に再構成して解説する醍醐味を味わう	京野真樹
◆ 提案授業に期待したいこと	開田晃央
◆ ことばの引き出しを「開ける」・「増やす」手立て	中村麻里那
◆ 教科内容に関わる指導の充実を	渥美清孝
◆ 「話すこと・聞くこと」の学習の基本はスピーチと話し合い（討論）	長谷川祥子
◆ 否定，修正，変容のある授業を期待する	野口芳宏
◆ 相手を尊重する心が起点となる	岩崎 淳
◆ 根拠を基に理由を明確にする「引用」の技術	大淵康孝
◆ 基礎的な言語技術を繰り返し指導する	田邊 泰
◆ 扱う作品は学習者に選ばせればよい	大貫眞弘
◆ 対話を通して，考えを深化・形成させる	富樫いずみ
◆ 「探究マップ」で論文発表をする——「思考」から「表現」（話すこと）へ——	池田尚子
◆ 作品鑑賞を話材とした具体的指導事項と伝達内容理解のポイントは何か	三浦 弘
◆ 対話を核にした創造的な鑑賞学習——若冲「動植綵絵」の解釈・考察を通して——	左近妙子
三 授業二「書くこと」領域での言語技術指導	
教材名『ミニ芥川賞作家になろう』——テキスト生成A I（ChatGPT）の選択を通して——（小六，自作教材）	
◆ 国語科学習指導案『ミニ芥川賞作家になろう』	
——テキスト生成A I（ChatGPT）の選択を通して——	山本裕貴
◆ A I時代を生きる子供たちへの作文指導の在り方	山本裕貴
◆ 言語技術教育にとって文章生成A Iは有効か	大内善一
◆ 「書く」技術を提示して，指導・評価する責任を果たす	西山明人
◆ テキスト生成A Iはどのような言語技術を見出すのか	安 暁彦
◆ 小学六年生にChatGPTを用いて指導する意義は何か	國府田祐子
◆ 文種ごとに必要な見出し語（学習用語）の使用が言語技術である	柳谷直明
◆ 書く「材料」を自分で集めるのは大変である	上原秀一

◆ 生成A Iを活用して物語を「書くこと」の目的と意図	篠原京子
◆ 言語活動と生成A I	井上善弘
◆ 芥川賞（純文学）的作品を書く言語技術——BingAI と Bard の活用比較——	塚田直樹
◆ 生成A Iを活用する際の留意点	渡辺真由美
◆ 子どもの作品の「評価」の問題をどう明確にするか	井上敬夫
◆ 言語技術の習得に向けた「言語活動」の工夫	坂本 要
◆ 試行錯誤……トライ&エラーで創作する	川又智子
四 授業三「読むこと」（説明的文章）領域での言語技術指導	
教材名 『固有種が教えてくれること』（小五，光村）	
◆ 図表等がある論理的文章を読む学習～小学五年生国語科学習指導案～	瀧沢葉子
◆ 図表等がある論理的文章を読む学習——文章と図表等を関連づけて読む言語技術——	瀧沢葉子
◆ 言語活動は言語技術で上達させる——言語技術を観点にして批評させる——	富樫忠浩
◆ 言い換えと比較に着目して読む——「言語技術 I」の検討を通して——	高木輝夫
◆ 文章内容理解のための基本的な言語技術	山中伸之
◆ 「文章と図表を照応させて」読み解く	照井孝司
◆ 他教科の学習活動を支える言語技術を身に付ける	高橋秀一
◆ 論理的文章の特質を理解させる	大木真智子
◆ 図や表を用いた文章読解	藤原かおり
◆ 論理的文章を，図・表・グラフ等の資料と関連させて読む	西山悦子
五 授業四「読むこと」（文学的文章）領域での言語技術指導	
教材名 谷川俊太郎『うんとこしょ』（小三）	
◆ 野口流小出し方式による詩の授業～小学三年生国語科学習指導案～	岩下 修
◆ 野口流小出し方式による詩の指導法の継承と発展を	岩下 修
◆ 詩を読むことから創ることへの「橋渡し」となる教材	今井 東
◆ 素材研究から発問作りへ	松澤正仁
◆ 「うんとこしょ」と「どっこいしょ」—言葉の実態を糸口に—	河内昭浩
◆ 谷川俊太郎の詩に魅了されて—生きることと言葉の関係をとらえ直す—	佐藤洋一
◆ 詩「うんとこしょ どっこいしょ」の群読指導	神部秀一
◆ 詩の楽しみ方を教える言語技術	増田 泉
◆ 「どのように音読するか」を考えるための言語技術指導	斉藤美智子
◆ 詩が伝えるメッセージを発見・創造する読みを楽しむ学習指導を期待する	平河 力
◆ 詩に対する積極的な見方を育てる指導	小川智勢子
◆ 「小出し方式」で言語技術指導——楽しみながら——	伊藤孝之
◆ 韻律とイメージを読み味わう詩の学習指導——どう「読む」かを考える——	小泉尚子
◆ 文学的文章の学びは実用性に根拠を求めるべき	佐野一機
◆ 野口芳宏氏の小出し方式による詩の授業法——『うとてとこ』の応用を探る——	櫻井智雄
六 宇佐美寛氏追悼の辞	
◆ 教育界の至宝	柳谷直明
◆ 追悼・宇佐美寛先生—宇佐美寛先生と言語技術教育—	大内善一
◆ 巨星落つ寂寥敬慕眠る山 糸朗	野口芳宏

Ⅲ 令和7(2025)年度第2回理事会(令和6年9月7日開催)

Zoomを活用してオンラインで理事会を行った。令和6(2024)年度大会収支を含む令和6(2024)年度決算・監査報告、令和7(2025)年度大会収支を含む令和7(2025)年度予算案、第34回研究大会企画、授業者・登壇者を検討した。

また、柳谷会長が令和7(2025)年度第34回秋田大会をもって2回目の3学会年度を迎え、改選期にあたるため、令和6年8月26日(月)に常任理事会を開催し、令和8(2026)年度に向けた役員体制案を検討し、常任理事会で作成した原案が本理事会で提案された。

- 1 令和8(2026)年度役員体制の件
原案が承認された。

2 令和8(2026)年度研究大会の件

第35回研究大会の開催について、下記のように承認された。

<令和8(2026)年度日本言語技術教育学会第35回大会(島根大会)>

- ・会 場 学校法人大多和学園開星中学校高等学校
- ・住 所 〒690-0017 島根県松江市西津田9丁目11番地1号
- ・校長名 小山内仁先生

3 決算報告・予算案

決算報告と予算案が承認された。

日本語技術教育学会令和6（2024）年大会収支を含む令和6（2024）年決算報告

令和6（2024）年大会収支を含む令和6（2024）年会計年度は、令和5（2023）年9月3日理事会当日から令和6（2024）年9月7日理事会前日までです。今回の決算には、令和6（2024）年第33回群馬大会の参加費、経費等が含まれています。

収入

（単位：円）

科目	細目	今年度予算額	今年度決算額	増減	備考
	繰越金	1,942,505	1,942,505	0	
参加費	令和六（二〇二四）年第三十三回群馬大会	160,000	148,000	△12,000	4,000円（会員事前）37名
		135,000	126,000	△9,000	4,500円（非会員事前）28名
		15,000	75,000	60,000	2,500円（学生事前）30名
		45,000	4,500	△40,500	4,500円（会員当日）1名
		50,000	5,000	△45,000	5,000円（非会員当日）1名
		17,500	0	△17,500	3,000円（学生当日）0名
会費	新規	17,000	15,000	△2,000	5名
雑収入	印税	0	12,122	12,122	31号40冊，32号18冊分
	紀要	30,000	15,500	△14,500	過去紀要販売
	雑費	500	16	△484	利息他
	合計	2,412,505	2,343,643	△68,862	

支出

科目	細目	今年度予算額	今年度決算額	増減	備考	
研究大会事務局	事務費	消耗品費	20,000	12,081	△7,919	封筒，用紙他
		印刷・製本費	10,000	0	△10,000	インク
	会場費	会場使用費	30,000	20,500	△9,500	大会会場費
	通信・運搬費	通信費	0	10,752	10,752	メール便，郵券他
		運搬費	0	0	0	資料等荷物急便費
	会議費	茶菓費	40,000	49,295	9,295	役員弁当代
	報償費	アルバイト	20,000	37,500	17,500	学生アルバイト（3,000円×15人）
	予備費		0	7,690	7,690	大会御協力業者への手土産
		小計	120,000	137,818	17,818	
	本部事務局	事務費	消耗品費	30,000	33,913	3,913
印刷費			300,000	295,210	△4,790	大会紀要
会場費		使用料	0	0	0	
通信・運搬費		通信費	10,000	4,826	△5,174	メール便，郵券他
		運搬費	10,000	18,220	8,220	紀要，資料等
会議費		茶菓費	0	0	0	
報償費		アルバイト	0	0	0	資料整理
予備費			1,942,505	1,853,656	△88,849	繰越金（純収支）
	小計	2,292,505	2,205,825	△86,680		
	合計	2,412,505	2,343,643	△68,862		

収支 2,337,643 - 2,337,643=0

日本語技術教育学会令和7（2025）年度大会収支を含む令和7（2025）年度予算案

令和7（2025）年秋田大会収支を含む令和7（2025）年会計年度は令和6（2024）年9月7日（土）第2回理事会当日から令和8（2026）年度第2回理事会前日までです。今回の予算には、令和7（2025）年第34回秋田大会参加費、経費等が含まれます。

収入

(単位：円)

科目	細目	前年度予算額	今年度予算額	増減	備考
	繰越金	1,942,505	1,853,656	△88,849	
参加費	令和七(二〇二五)年第三十四回秋田大会	160,000	160,000	0	4,000円(会員事前)40名
		135,000	135,000	0	4,500円(非会員事前)30名
		15,000	25,000	10,000	2,500円(学生事前)10名
		45,000	45,000	0	4,500円(会員当日)10名
		50,000	50,000	0	5,000円(非会員当日)10名
		17,500	30,000	12,500	3,000円(学生当日)10名
					合計110名参加予定
会費	新規	30,000	6,000	△24,000	2名
雑収入	印税	0	10,000	10,000	31号, 32号, 33号分
	紀要	30,000	9,000	△21,000	
	雑費	10	0	△10	利息他
	合計	2,425,015	2,323,656	△101,359	

支出

科目	細目	前年度予算額	今年度予算額	増減	備考	
研究大会事務局	事務費	消耗品費	20,000	20,000	0	用紙他
		印刷・製本費	10,000	10,000	0	インク, 案内印刷, 紀要製本他
	会場費	会場使用費	30,000	10,000	△20,000	大会会場費
	通信・運搬費	通信費	0	0	0	メール便, 郵券他
		運搬費	0	0	0	資料等荷物宅急便代
	会議費	茶菓費	40,000	40,000	0	役員理事弁当代
	報償費	アルバイト	20,000	10,000	△10,000	大会運営アルバイト
	予備費		0	0	0	
	小計	120,000	90,000	△30,000		
本部事務局	事務費	消耗品費	30,000	20,000	△10,000	用紙, インク他
		印刷費	300,000	245,000	△55,000	
	会場費	会場使用料	0	0	0	
	通信・運搬費	通信費	10,000	10,000	0	メール便, 郵券他
		運搬費	10,000	10,000	0	紀要, 資料等
	会議費	茶菓費	0	0	0	
	報償費	アルバイト	0	0	0	
予備費		1,942,505	1,948,656	6151	繰越金(純収支)	
	小計	2,292,505	2,233,656	△58,849		
	合計	2,412,505	2,323,656	△88,849		

収支 2,323,656 - 2,323,656 = 0

IV 日本言語技術教育学会第34回大会(秋田大会)

1 大会テーマなど

【大会テーマ】言語技術が見える授業づくり

【期 日】令和7(2025)年7月26日(土)

【後 援】文部科学省(申請予定), 群馬県教育委員会(申請予定)

【会 場】秋田大学教育文化学部附属小学校 [〒010-0904 秋田県秋田市保戸野原の町13-1]

【参加費】事前入金(7月24日締切)会員4,000円 非会員4,500円 学生2,500円

当日入金 会員4,500円 非会員5,000円 学生3,000円(資料費込)

2 日程

09:00 受付開始

09:45 諸連絡 渥美清孝(事務局長)

実行委員長挨拶 京野真樹(理事)

09:50 開会挨拶 柳谷直明(会長)

第一部 提案授業

10:00~10:25 模擬授業1 話すこと・聞くこと「質問について考える(自作小6)」

授業者 田邊 泰(青山学院大学)

10:30~10:55 模擬授業2 書くこと(作文)「学校で好きな場所」を4段落構成でまとめる(自作小4)」

授業者 岩下 修(元立命館小学校)

11:05~11:30 模擬授業3 読むこと(説明的な文章)「eラーニング教材,「鑑賞・批評」指導～『君は「最後の晩餐」を知っているか』(光村図書中2)」

授業者 富樫忠浩(栗山町立栗山小学校)

11:35~12:00 模擬授業4 読むこと(文学的文章)「書き足し・書き替え物語で読み深めよう～『ぼくのブック・ウーマン』(光村図書小6)～」

授業者 京野真樹(秋田大学教育文化学部附属小学校)

12:00 諸連絡(昼食場所・総会案内等)

12:10 昼休み・理事会

13:00 学会総会(事業・会計報告, 事業・予算案等)

第二部 提案授業の検討

13:30~14:20 検討1「話すこと・聞くこと」領域

指定討論者・司会 渥美清孝(弟子屈町立弟子屈小学校)

提案者 田邊 泰(青山学院大学)

指定討論者 西山悦子(東京都台東区立田原小学校)

中村麻里那(茨城大学教育学部附属中学校)

長谷川祥子(青山学院大学)

野口芳宏(植草学園大学名誉教授)

14:25~15:15 検討2「書くこと(作文)」領域

指定討論者・司会 高木輝夫(ひたちなか市立枝川小学校)

- 提案者 岩下 修 (元立命館小学校)
 指定討論者 塚田直樹 (太田市立藪塚本町小学校)
 瀧沢葉子 (上尾市立大石北小学校)
 山中伸之 (小山市立大谷北小学校)
 國府田祐子 (淑徳大学)
- 15:25~16:15 検討3「読むこと(説明文)」領域
 指定討論者・司会 今井 東 (育英短期大学)
 提案者 富樫忠浩 (栗山町立栗山小学校)
 指定討論者 小川智勢子 (環太平洋大学)
 開田晃央 (水戸教育事務所学校教育課)
 渡辺真由美 (越谷市立武蔵野中学校)
 柳谷直明 (北海道教育大学)
- 16:20~17:10 検討4「読むこと(文学)」領域
 指定討論者・司会 佐藤洋一 (岡崎女子大学)
 提案者 京野真樹 (秋田大学教育文化学部附属小学校)
 指定討論者 安 暁彦 (茨城大学教育学部附属中学校)
 照井孝司 (せせらぎ国語教室)
 篠原京子 (東京未来大学)
 中村孝一 (常葉大学)

※ 所属は令和6年12月時点のもの。

- 17:15 閉会挨拶
 17:20 諸連絡, 懇親会案内他

3 大会申し込み方法

- (1) 大会名をネットで検索し「こくちーず」で申し込んでください。
 こくちーず kokuchpro.com/event/070726/
- (2) 下記ゆうちょ銀行口座への入金をお願いします。
 ①ゆうちょ銀行からの入金「振替口座記号番号 02710-1-51406/口座名称 渥美清孝(アツミキヨタカ)」
 ②ゆうちょ銀行以外からの入金「店名(店番)二七九(ニナナキュウ)店(279)/預金種目 当座/口座番号 0051406」
- (3) 入金後に入金告知, 氏名, 勤務先, Eメールアドレス, 総会と懇親会の参加の有無を下記事務局へメールしてください。
- (4) 「こくちーず」以外の申込み問合せ先は下記です。
 第34回大会実行委員会受付担当: 渥美清孝 E-mail k8m8y2@gmail.com



日本語技術教育学会

第34回秋田大会

大会テーマ 言語技術が見える授業づくり

質問について考える(自作小6) / 「学校ですきな場所」を4段落構成でまとめる(自作小4)
 eラーニング教材による「鑑賞・批評」指導～『君は「最後の晩餐」を知っているか』(光村図書中2)～
 書き足し・書き替え物語で読み深めよう～『ぼくのブック・ウーマン』(光村図書小6)～
これらの教材で身に付けさせる言語技術

【期 日】令和7(2025)年7月26日(土) 9:50～17:20

【後 援】文部科学省, 秋田県教育委員会(申請予定) 申込先「こくちーず」→

【会 場】秋田大学教育文化学部附属小学校 [〒010-0904 秋田県秋田市保戸野原の町13-1]
 JR秋田駅からタクシーで約10分, 徒歩約30分



【参加費】 ■事前入金(7月24日入金まで有効) 会員4,000円 非会員4,500円 学生2,500円(資料費込み)
 ■当日入金 会員4,500円 非会員5,000円 学生3,000円 ■懇親会 事前のみ 5,000円

9:00 受付開始 9:45 連絡 渥美清孝(事務局長) 実行委員長挨拶 京野真樹(理事) 9:50 開会挨拶 柳谷直明(会長)	第1部 提案授業
公開授業1 質問について考える(小6, 自作教材) 10:00～10:25 (25分) 授業者 田邊 泰(青山学院大学)	第2部 提案授業の検討
公開授業2 「学校ですきな場所」を4段落構成でまとめる(小4, 自作教材) 10:30～10:55 (25分) 授業者 岩下 修(元立命館小学校)	検討1 話すこと・聞くこと 13:30～14:20(50分) 指定討論者・司会 渥美清孝(弟子屈町立弟子屈小学校) 提案者 田邊 泰(青山学院大学) 指定討論者 西山悦子(東京都台東区立田原小学校) 中村麻里那(茨城大学教育学部附属中学校) 長谷川祥子(青山学院大学) 野口芳宏(植草学園大学名誉教授)
公開授業3 eラーニング教材による「鑑賞・批評」指導～『君は「最後の晩餐」を知っているか』(光村図書中2教材)～ ——教科書教材は各自で御用意ください。—— 11:05～11:30 (25分) 授業者 富樫忠浩(栗山町立栗山小学校)	検討2 書くこと(作文)14:25～15:15(50分) 指定討論者・司会 高木輝夫(ひたちなか市立枝川小学校) 提案者 岩下 修(元立命館小学校) 指定討論者 塚田直樹(太田市立藪塚本町小学校) 瀧沢葉子(上尾市立大石北小学校) 山中伸之(小山市立大谷北小学校) 國府田祐子(淑徳大学)
公開授業4 書き足し・書き替え物語で読み深めよう～『ぼくのブック・ウーマン』(光村図書小6教材)～ ——教科書教材は各自で御用意ください。—— 11:35～12:00 (25分) 授業者 京野真樹(秋田大学教育文化学部附属小学校)	検討3 読むこと(説明文)15:25～16:15(50分) 指定討論者・司会 今井 東(育英短期大学) 提案者 富樫忠浩(栗山町立栗山小学校) 指定討論者 小川智勢子(環太平洋大学) 開田晃央(水戸教育事務所学校教育課) 渡辺真由美(越谷市立武蔵野中学校) 柳谷直明(北海道教育大学・附属札幌中学校)
12:00 諸連絡(昼食場所・総会案内等) 12:10 昼休み・理事会 13:00 学会総会(事業・会計報告, 事業計画・予算案等)	検討4 読むこと(文学)16:20～17:10(50分) 指定討論者・司会 佐藤洋一(岡崎女子大学) 提案者 京野真樹(秋田大学教育文化学部附属小学校) 指定討論者 安 暁彦(茨城大学教育学部附属中学校) 照井孝司(せせらぎ国語教室) 篠原京子(東京未来大学) 中村孝一(常葉大学)
※ ビデオ不可, 写真撮影は個人使用の場合のみ可とする。 ※ 所属は令和7(2025)年3月31日現在である。	17:15 閉会挨拶 中村孝一(副会長) 17:20 諸連絡, 懇親会案内他
参加方法	(1) 大会名をネットで検索し, 「こくちーず」で申込みます。次に, 下記の <u>ゆうちょ銀行口座への入金</u> をお願いします。 (2) ①ゆうちょ銀行からの入金「振替口座記号番号02710-1-51406/口座名称 渥美清孝(アツミキヨタカ)」 ②ゆうちょ銀行以外からの入金「店名(店番) 二七九(ニナナキュー)店(279)/預金種目 当座/口座番号0051406」 (3) 入金後, 入金告知, 氏名, 勤務先, Eメールアドレス, 総会と懇親会の参加の有無を下記事務局へメールします。 (4) 「こくちーず」以外の申込み, 問合せ。第34回大会実行委員会受付担当 渥美清孝 E-mail: k8m8y2@gmail.com

V 学会紀要について

紀要第1号～第21号は明治図書から、第31号・第32号・第33号は溪水社から刊行した。

『言語技術教育 第1号』(1993, 明治図書) 特集 言語技術教育でどんな力がつくか(1580円)

『言語技術教育 第2号』(1994, 明治図書) 特集 言語技術教育の観点から新教科書を点検する(1794円)

『言語技術教育 第3号』(1995, 明治図書) 特集 言語技術教育としての『話し方・聞き方』指導を構想する(1794円)

『言語技術教育 第4号』(1995, 明治図書) 特集 この文学教材でこの言語技術を教える(2314円)

『言語技術教育 第5号』(1996, 明治図書) 特集 説明的文章を使ってどんな言語技術教育を身につけさせるか(1682円)

『言語技術教育 第6号』(1997, 明治図書) 特集 論理的思考力を鍛える作文技術(1995円)

『言語技術教育 第7号』(1998, 明治図書) 特集 討論の授業がどんな言語技術教育を身につけさせるか(1890円)

『言語技術教育 第8号』(1999, 明治図書) 特集 音声言語指導の教材開発・授業開発(2058円)

『言語技術教育 第9号』(2000, 明治図書) 特集 総合的学習を支える言語技術とは何か(2205円)

『言語技術教育 第10号』(2001, 明治図書) 特集 総合的学習と「読み・書き」の技術(2058円)

『言語技術教育 第11号』(2002, 明治図書) 特集 到達度・絶対評価の基準としての言語技術(1953円)

『言語技術教育 第12号』(2003, 明治図書) 特集 「絶対評価」で問われる基礎学力と結果責任(1995円)

『言語技術教育 第13号』(2004, 明治図書) 特集 二十一世紀に求められる言語技術とは何か(1760円)

『言語技術教育 第14号』(2005, 明治図書) 特集 「この言語技術」を「この授業」で身につける(1890円)

『言語技術教育 第15号』(2006, 明治図書) 特集 「読解力の低下」問題と国語科授業の改革(1953円)

『言語技術教育 第16号』(2007, 明治図書) 特集 国語学力を育てる言語技術教育(1953円)

『言語技術教育 第17号』(2008, 明治図書) 特集 論理的な「言語力」を育てる国語科の授業(1953円)

『言語技術教育 第18号』(2009, 明治図書) 特集 「伝統的な言語文化」を活かす言語技術(1680円)

『言語技術教育 第19号』(2010, 明治図書) 特集 「伝統的な言語文化」を深める授業力とは(1890円)

『言語技術教育 第20号』(2011, 明治図書) 特集 「この言語技術」で思考力・表現力が高まる(1953円)

『言語技術教育 第21号』(2012, 明治図書) 特集 新教材・伝統的な言語文化をどう授業化するか(1890円)

『言語技術教育 第22号』(2013, 私家版) 特集 単元を貫く言語技術を解明する(1890円)

『言語技術教育 第23号』(2014 特集 言語技術が見える授業づくり-学力向上に役立つ言語技術-(500円)

『言語技術教育 第24号』(2014, 私家版) 特集 「文学教材の授業で身につけさせる言語技術」とは何か—「ごんぎつね」を例に—(500円, 残部有, 希望者は事務局へ照会)

『言語技術教育 第25号』(2015, 私家版) 特集 言語技術が見える授業づくり—「大造じいさんとが

ん」「和の文化を受けつぐ—和菓子をさぐる—」で身につけさせる言語技術—(500 円, 残部有, 希望者は事務局へ照会)

『言語技術教育 第 26 号』(2016, 私家版) 特集 言語技術が見える授業づくり—「ごんぎつね」「天気を予想する」で身につけさせる言語技術—(500 円, 残部有, 希望者は事務局へ照会)

『言語技術教育 第 27 号』(2017, 私家版) 特集 言語技術が見える授業づくり—「スイミー」「すがたをかえる大豆」「短歌」で身につけさせる言語技術—(500 円, 残部有, 希望者は事務局へ照会), 残部有, 希望者は事務局へ照会)

『言語技術教育 第 28 号』(2018, 私家版) 特集 言語技術が見える授業づくり—「リクエスト給食のメニューを決めよう(話す・聞く)」「新商品のよさを伝えよう(書く)」説明文「未来に生かす自然のエネルギー」文学「海のいのち」で身につけさせる言語技術—(500 円, 残部有, 希望者は事務局へ照会), 残部有, 希望者は事務局へ照会)

『言語技術教育 第 29 号』(2019, 私家版) 特集 言語技術が見える授業づくり—「論理的に読む学習」「すがたをかえる大豆」「天気を予想する」「ふきのとう」で身につけさせる言語技術—(1000 円, 残部有, 希望者は事務局へ照会)

『言語技術教育 第 30 号』(2020, 私家版) 特集 言語技術が見える授業づくり —「反論を先取りして主張する」「動物たちが教えてくれる海の中のくらし」「一つの花」「話し方」で身につけさせる言語技術—(1000 円, 残部有, 希望者は事務局へ照会)

『言語技術教育 第 31 号』(2022, 溪水社) 特集 言語技術が見える授業づくり—「聞き上手になろう 質問で相手の思いに迫る」「図や表を活用して書く作文指導」「メディアと人間社会」「走れメロス」で身につけさせる言語技術—(2090 円, 販売は Amazon : [x. gd/4Qehr](https://www.amazon.co.jp/dp/B0B14Q9EHR))

『言語技術教育 第 32 号』(2023, 溪水社) 特集 言語技術が見える授業づくり—「他者の発言に心傾けて」「根拠を明確にして意見・感想を述べる」「笑うから楽しい」「高浜虚子の俳句を詠み味わおう」で身につけさせる言語技術—(2090 円, 販売は Amazon : [x. gd/kE6ar](https://www.amazon.co.jp/dp/B0B14K66AR))

『言語技術教育 第 33 号』(2024, 溪水社) 特集 言語技術が見える授業づくり—「子供学芸員になろう~対話による絵画の鑑賞を通して」「ミニ芥川賞作家になろう—テキスト生成 AI (ChatGpt) の選択を通して—」「固有種が教えてくれること」「うんとこしょ」(谷川俊太郎) で身につけさせる言語技術— (2090 円, 販売は Amazon : [x. gd/JpWib](https://www.amazon.co.jp/dp/B0B14JPWIB))

※ 明治図書, 溪水社発行『言語技術教育』は Amazon で購入できます。

※ 私家版は事務局に残部があります。事務局(渥美清孝 k8m8y2@gmail.com)に照会してください。

VI 新規会員の申し込みについて

本学会は研究者と実践者が意見交換できる貴重な場です。また, 言語技術教育の解明, 普及のために提案を続けています。この価値ある場へお誘いください。会の普及に御協力ください。

- (1) 下記の口座へ入会金 3,000 円の入金をお願いします。(年会費無料)
- (2) 事務局(渥美 [mail:k8m8y2@gmail.com](mailto:k8m8y2@gmail.com))へ住所, 氏名, 勤務先をメールしてください。
- (3) 事務局からの返信メールを確認してください。(3 日以内に返信がない場合, 再度メールを送信ください。)

◎入会金の入金先

・ゆうちょ銀行「記号 19700/番号 16017741 ニホンゲンゴギジュツキョウイクガツカイ」

・ゆうちょ銀行他金融機関「店名九七八／店番 978／預金種目普通預金／1601774」
※ 研究大会会場の受付でも入会手続きが可能です。

VII ネットでの発信

本学会のネット上の情報は次の通りです。

- 1 日本言語技術教育学会公式HP x.gd/qKQGc
- 2 日本言語技術教育学会 blog x.gd/9KJsR
- 3 日本言語技術教育学会 X 公式アカウント(旧 Twitter) x.gd/piIdf
- 4 日本言語技術教育学会 Facebook x.gd/s9vns